

3M

DI-NOC™

Architectural Finishes

AR Series / Elevator

キズ防止フィルム エレベーター用

Color Samples

2026-



3M™ ダイノック™ フィルム ARシリーズ (キズ防止フィルム)

擦り傷、引っかき傷がつきにくく、美しさが長持ちするフィルムです。
台車、靴などが触れる傷付きやすい部分に適しています。

採用メリット

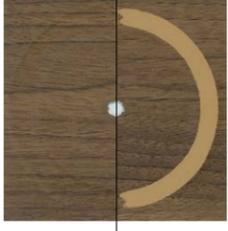
傷・汚れに強く、美観維持・向上につながります。

鉛筆硬度9Hの硬さのあるフィルムのため、優れた耐久性で傷や汚れが付きにくく、水拭き等が可能のため日常のお手入れも簡単です。

工期を短縮できます。

フィルムを貼るだけのため、下地を交換する工事と比べて工期短縮につながります。

性能比較

品番	FW-1022AR 傷防止構造あり	FW-1022 傷防止構造なし
鉛筆硬度	9H	HB
耐摩耗性		
	8,000回転後の評価	
	目視で柄はまだ消えていない	目視で柄が消失

〔評価方法〕
鉛筆硬度：試験方法はJIS K5600-5-4 (荷重750g) に準拠し、9H(硬)⇄6B(軟) 17段階
耐摩耗性：摩耗輪 (CS-17、1kg) による摩耗試験を実施。8,000回転後を目視で外観観察。
結果はあくまで代表値であり、全ての製品性能を保証するものではありません。



施工前



施工後

かご内壁面 FW-1122AR



エレベーター扉 CH-1630AR、壁面 ST-1831



エレベーター扉・三方枠 ME-433AR



エレベーター扉 ME-2285AR、かご内壁面 FW-1122AR、壁面 WG-2076



エレベーター扉・幕板 PA-181AR
天井 FW-1022AR、三方枠 CH-1630AR

統一感あるデザインをお選びいただけます。

豊富なデザインパターンで、エレベーター内部だけでなく、乗り場の壁面や三方枠などにも施工することで、空間全体に調和した仕上がりを実現できます。また、スタンダード製品との併用も可能です。



FW-236AR

シリーズ名 番号 副番
(機能製品シリーズ名、補足情報等)



FW-236AR



FW-236 オーク柾目

シリーズ名と番号が同じものは同柄・近似色となっています。
また、一部品番を除き、ARシリーズの品番はスタンダード製品と同柄・近似色となっています。

例：FW-236ARはFW-236と同柄・近似色

清掃・除菌製品のご紹介

エレベーターパネルの清掃に



スコッチ・ブライト™ ステンレスクリーナー&ポリッシュ

ステンレス、金属部分表面などの軽い汚れを落とし、つや出しが同時に行えます。
また、指紋等の汚れを付きにくくする皮膜を形成し、再汚染防止の保護効果があります。

清掃、除菌拭き作業に



スコッチ・ブライト™ ワイピングクロス No.2012

高い汚れの除去力・高耐久。
洗浄、除菌製品を使った拭き作業に最適です。

サンプル請求

16時までのご依頼分は、当日出荷します

サンプルは1種類につき2枚までご請求いただけます。到着日のご指定はお受けしていませんのでご了承ください。
go.3m.com/dinoc_sample



ショールーム・サンプルデスク

3M™ ダイノック™ フィルム、3M™ ファサラ™ ガラスフィルム、3M™ ウィンドウフィルムのサンプルを全品番ご用意しています。
現地もしくはオンラインで3M専任スタッフがご案内いたします。
施設の詳細、ご予約は、WEBサイトをご覧ください。



エレベーター扉 CH-1630AR、幕板・三方枠 ME-009AR



実際にコインで擦ってみてください。
擦ったあともフィルムに傷は付かず
美観を維持します。

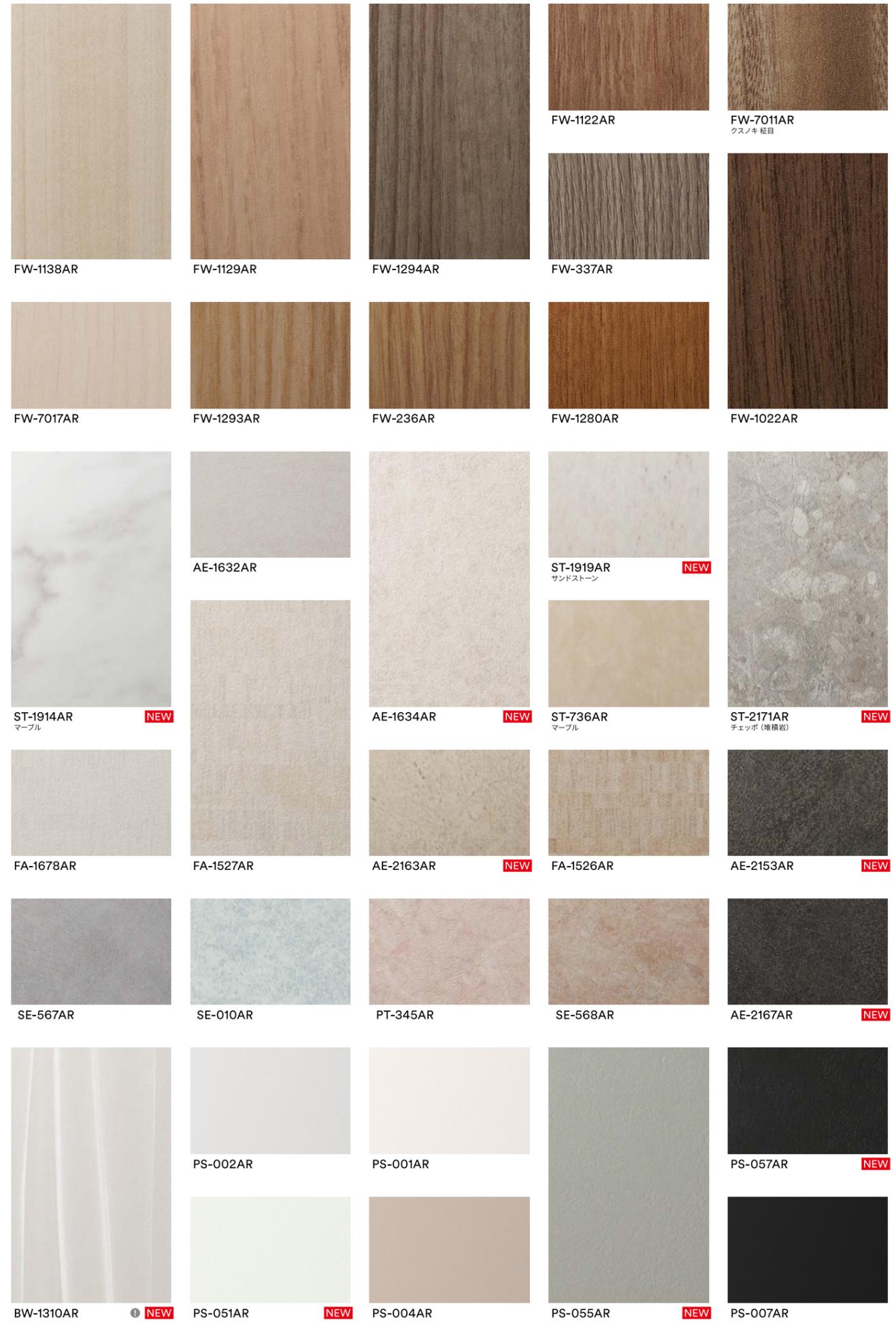
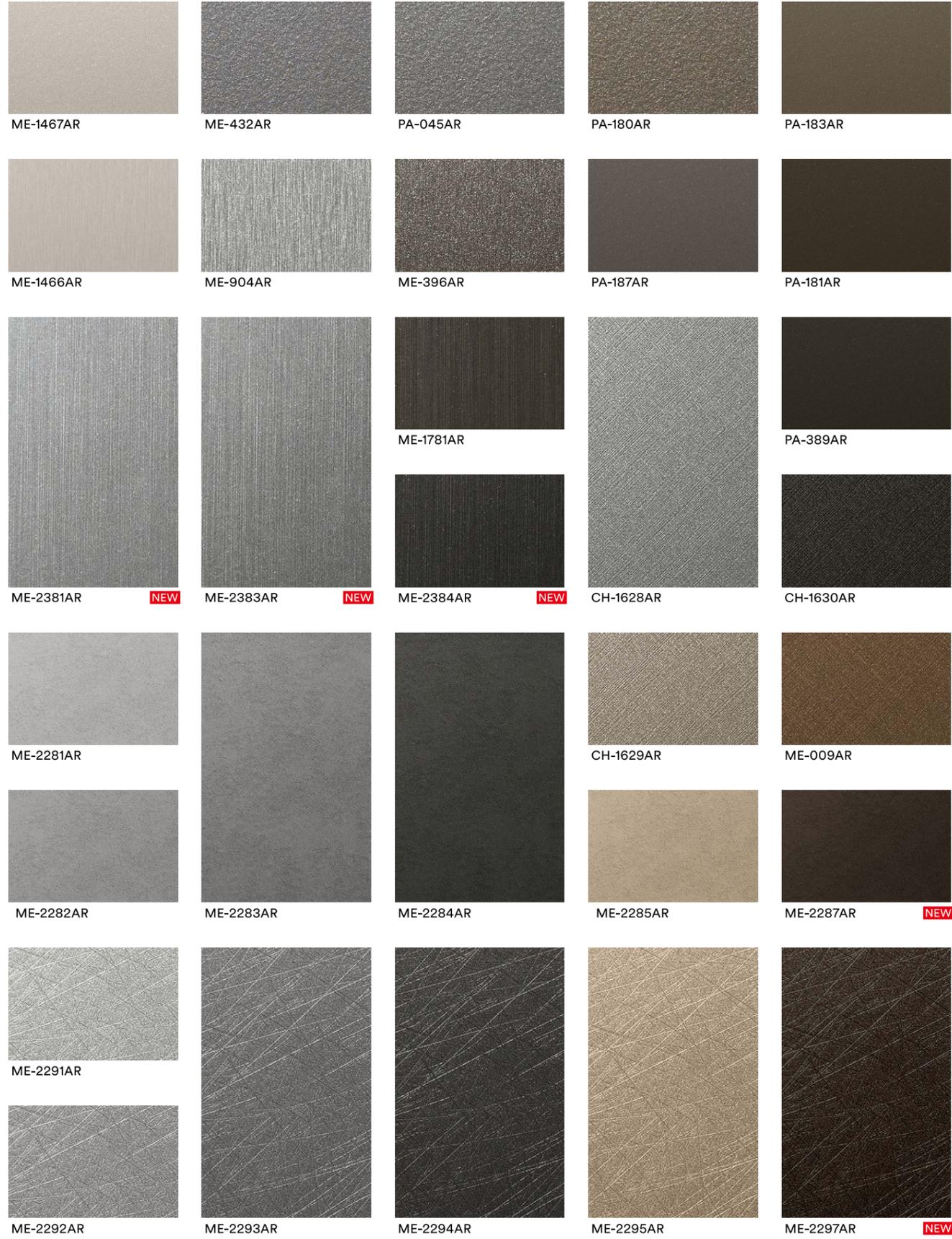


品番	ロールサイズ
AE-AR, BW-AR, CH-AR, FA-AR, FW-AR, ME-AR, PA-AR, PS-AR, PT-AR, SE-AR, ST-AR	W1,220mm x L25m

① ... 3次元曲面に施工する際はご留意いただくか、施工を避けていただく製品です。

Sample Line Up

エレベーター及びエレベーター周辺におすすめの品番をラインアップしています。
下記以外にもARシリーズをご用意していますので、全品番をご覧になりたい場合には3M™ ダイノック™ フィルム 見本帳及び3M™ ダイノック™ フィルム ARシリーズ (キズ防止フィルム) 見本帳をご参照ください。



製品データ

製品の特性は以下をご参照ください。また、製品データについては、予告なく変更する場合があります。

・試験条件を明記していないものは、すべて20°C、65%RHでの試験結果です。・代表的な値であり保証値ではありません。・試験方法は当社独自の方法です。JISに基づく試験方法とは異なります。

特性	試験方法	結果	
接着力	幅25mm、長さ180mmの帯状のフィルム切片を電気垂鉛めっき鋼板に貼り付け、48時間放置。その後、引張試験機を用い、引張速度300mm/分で180°方向に引き剥がしたときの接着力を測定する。	20N以上(25mm幅)	
耐熱性	アルミニウム板に貼り付け、65°Cに連続30日間放置後の剥離の有無を確認する。	剥離などの異常なし	
耐湿性	アルミニウム板に貼り付け、40°C、95%RHの恒温恒湿試験機に30日間放置後の剥離の有無を確認する。	剥離などの異常なし	
耐低温衝撃性	1mm厚のアルミニウム板にフィルムを貼り付け、ガードナー衝撃試験機を用い、5°Cの環境下で907gの重りを12.7cmの高さから落下させる。	フィルムの割れ発生せず	
鉛筆硬度	「JIS K5600-5-4 (荷重750g) に準拠し、9H(硬)⇔6B(軟)17階で評価する。	9H	
耐溶剤・化学薬品性	アルミニウム板またはアクリル板に貼り付け、各薬品に所定時間浸漬し、目視で状態を評価する。	水(24時間)	異常なし
		10%塩酸(24時間)	異常なし
		10%水酸化ナトリウム水溶液(24時間)	変質または剥離
		エタノール(24時間)	変質または剥離
		酢酸エチル(5分)	変質または剥離
耐汚染性	表面に以下の物質を24時間接触後、水で拭き取った後の表面の光沢差/色差を観察する。 (食品類)・コーヒー・紅茶・コーラ・ワイン・しょうゆ・食酢 (薬品類)・塩水(1%)・アンモニア水(10%)・過酸化水素水(3%)・エチルアルコール(50%)	メチルエチルケトン(5分)	変質または剥離
		トルエン(5分)	変質または剥離
			水拭き後に異常がない

法令

●防火性能：国土交通省 防火認定番号

認定番号	対象下地	防火性能
NM-2403	不燃材料(金属板に限る) 建設省告示第1400号に例示された鉄鋼及び金属板のうち、すでに化粧を施されたもの及びアルミニウムを除くもの	不燃材料
NM-2394	不燃材料(金属板を除く) 建設省告示第1400号に例示された不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、アルミニウム、金属板を除くもの	不燃材料
NM-5228	アルミニウム合金板 a.厚さ0.5~20.0mm b.質量1.4kg/m ² ~56.0kg/m ² c.合金番号 1070、1060、1050、1100、1200、2011、2014、2017、2024、2117、2219、3003、3004、3105、5005、5050、5052、5154、5254、5454、5056、5083、5182、5086、6061、6N01、6063、7003、7050、7N01(溶解温度502°C以上) 出典：社団法人日本アルミニウム協会アルミニウムハンドブック d.塗装の仕様 主素材：アクリル系樹脂 厚さ：25μm以下 塗装の仕様は上記以外にも認定範囲に含まれる場合がありますので当社へお問い合わせください。	不燃材料

●ホルムアルデヒド発散建築材料

国土交通省 ホルムアルデヒド発散建築材料：MFN-2761(等級：F☆☆☆☆)

注意事項

製品	本製品は屋内専用です。屋外で使用しないでください。 製品の表面は砥粒のような細かい粒に覆われていますので、物が接触すると表面を削り取り損傷を与えることがあります。 耐摩耗性を向上した製品ですが、刃物など鋭利なものや強い衝撃では傷が付く場合があります。 爪やスキーブーツなどでフィルム表面をこすると、それらが削れるなどしてフィルム表面に汚れが付着して、白い傷のように見える場合がありますが水拭きすることで汚れを清掃することが可能です。 見る角度や光の当たり方によっては柄のようなものが見える場合があります。
施工	貼り付け温度範囲は12°C~38°Cです。 貼り付け作業前に作業場所周辺の床を清掃するとともに、作業中にほこりが立たないように(作業場所周辺に霧吹きで水を撒くなど)してください。 施工する際には、柔らかい布を巻いたスキーブーツで圧着してください。 3次元曲面に施工可能です。 折り曲げシロは6mm以上を確保した上で施工してください。 3M™ ダイノック™ フィルムのジョイント、および小口で重ね貼りする場合、120番以上のサンドペーパーでフィルム表面を十分にサンディングしてから更に180番のサンディングペーパーで平滑にし、削り粉が残らないよう水拭き後、3M™ プライマー-DP-900N3を塗布してください。 硬い布や有機溶剤で表面を清掃しないでください。特にシンナー拭きによる白濁が目立つことがあるため、十分ご注意ください。
剥離	フィルムを基材側から剥離するときの方法や状態によって粘着剤が基材側に残る場合があります。 フィルムを剥離する方法 1.下地側を傷めないように注意しながらフィルムに幅20cm程度の切れ目を入れてください。 2.家庭用ヘアードライヤーでフィルムをあたため、軟化させてください。 3.切れ目を入れたフィルムを短冊状に剥がしてください。 4.剥がした後、下地に粘着剤が残る場合があります。残った粘着剤は3M™ クリーナー-20、3M™ クリーナー-30、もしくはシンナー等を使用して取り除いてください。 取り除いた後も、下地によっては貼り跡が残る場合があります。 5.石膏ボード、ケイ酸カルシウム板、ベニヤ板等の下地側に貼ったフィルムを、下地側を傷付けずに剥離することはできません。
清掃/メンテナンス	施工後のフィルム表面の清掃はウエスのような柔らかい布を用いて、乾拭き、水拭きまたは中性洗剤を使用してください。 傷付きに強い製品ではありますが、表面の付着物によっては傷付きの可能性もありますので、乾拭きの際はご注意ください。 硬い布や有機溶剤は表面を傷付けたり変質したりする場合があるので使用しないでください。特にシンナー拭きによる白濁が目立つことがあるため、十分ご注意ください。 消毒薬の使用に関しては、3M™ ダイノック™ フィルム 見本帳表紙裏の冊子P.23「消毒薬の使用ガイドライン」をご参照ください。

製品データ、法令、注意事項の詳細は、ダイノックWEBサイトの製品技術・施工情報ページ (<http://www.mmm.co.jp/cmd/dinoc/attention/>) をご参照ください。

■ご採用決定の際には、あらかじめ在庫状況をお問い合わせください。

■当社製品の仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。

■本書に記載する事項、技術資料並びに推奨は、すべて当社が信頼する情報及び試験に基づいていますが、その正確性もしくは完全性についての絶対的な保証をするものではありません。

■使用者は使用に先立って、自己の使用目的及び用途に当社製品が適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任をすべて負うものとします。

■当社及び当社製品の製造者の義務は、当社が別途定める条件に基づき、不良であることが証明された製品の交換、もしくは当該製品のご購入代金の返金だけであり、いかなる場合であってもそれ以外の責任は負いません。

■上記内容と異なる保証並びに本書に記載されていない事項及び推奨は、当社及び当社製品の製造者の権限を有する役員が署名した文書によらない限り、当社は何らの責任も負いません。

表紙の写真に使用している製品/扉板・三方枠：PA-389AR

このカタログに掲載された仕様、デザインなどは、予告なしに変更することがあります。3M、DI-NOC、ダイノック、スコッチ・ブライトは、3M社の商標です。



スリーエム ジャパン株式会社
go.3M.com/dinoc/

Please Recycle. Printed in Japan.
© 2026, 3M. All Rights Reserved.
DIN282-E(122510)SR

カスタマーコンタクトセンター
製品のお問い合わせはナビダイヤルで
 0570-012-123
9:00-12:00、13:00-17:00/月~金
(土日祝年末年始は除く)